

令和 2 年度

塩竈市防災備蓄品の入替作業に貢献!!

Copyright©2020shiogama high-school 総務部

塩釜高校では防災教育目標の一つに「地域の安全に貢献する心の育成」を掲げ、生徒が地域貢献できる体制づくりを進めてきました。

<防災備蓄品の出庫作業> 12月20日(日)

東キャンパス敷地内には、塩竈市の備蓄コンテナ3台が設置されています。東日本大震災から10年が経過するにあたり、遠藤秀樹校長は、塩竈市から備蓄倉庫内の飲料水の入替え作業を依頼されました。

これを受け、12月20日(日)午前、部活動生徒約50名が、備蓄用の水(ペットボトル2㍻6本入/1箱)×387箱の入替え作業を行いました。当日は大雪に見舞われたことから、駐車場から備蓄倉庫、体育館裏手階段の除雪を行い、その後1時間ほどかけてバケツリレーで搬出作業を行いました。

生徒は、地域に貢献できたことに達成感を覚えているようでした。なお、12月24日(木)には、防災委員会の生徒が、新たに備蓄飲料水を搬入予定です。



次ページあり

<防災備蓄品の入庫作業> 12月24日(木)

クラスの防災委員と部活動の生徒約100名で、備蓄用の水約380箱の入庫作業を行いました。生徒の皆さんのご協力で想定時間を大きく上回る速さで作業が完了し、塩竈市の職員の皆さんも驚いていました。当日は、出庫作業と同様に駐車場から備蓄倉庫までバケツリレーで搬入作業を行いました。作業完了後、塩竈市から本校生徒にスポーツドリンクをプレゼントしていただきました。生徒は、「塩釜高校のある地元へ貢献できて良かった」と話していました。



東西の教頭先生もご協力！

地域貢献



ご協力いただいた生徒の皆さん先生方ありがとうございました！